

新殺菌剤登場

べと病 疫病に 効く

安心 **W** の効果

葉の裏まで
効く!

よく効く!
長く

「オキサチアピプロリン」と「マンジプロパミド」の2つの有効成分が、
病原菌の全生活環に強力な殺菌作用を発揮。
耐性菌にも強く、優れた効果と安心が続きます。



 **オロンディス® ウルトラスC**

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

農薬をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標

- **べと病・疫病**の病原菌生活環のすべてのステージに**高い活性をもつ**「オキサチアピプロリン」と「マンジプロパミド」の2つの成分が、強力な効果を発揮します。
- **葉の裏側まで**しっかり防除する**高い浸達性**と新展開葉まで防除する**優れた上方移行性**で、植物をべと病・疫病から守ります。
- ワックス層に速やかに吸着し、**散布1時間後の雨にも優れた耐雨性**を発揮。安定した効果が持続します。

■ 適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサチアピプロリンを含む農薬の総使用回数	マンジプロパミドを含む農薬の総使用回数
キャベツ はくさい レタス	べと病	2000倍	100~ 300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内
ねぎ				収穫前日まで				2回以内
たまねぎ				3回以内				
トマト	疫病							3回以内

■ 2つの有効成分のはたらき

オキサチアピプロリン

上方移行性 残効性

非常に高い殺菌活性による、長い残効性が特徴。上方移行性により薬剤のかかっている範囲・新展開葉もしっかり防除。



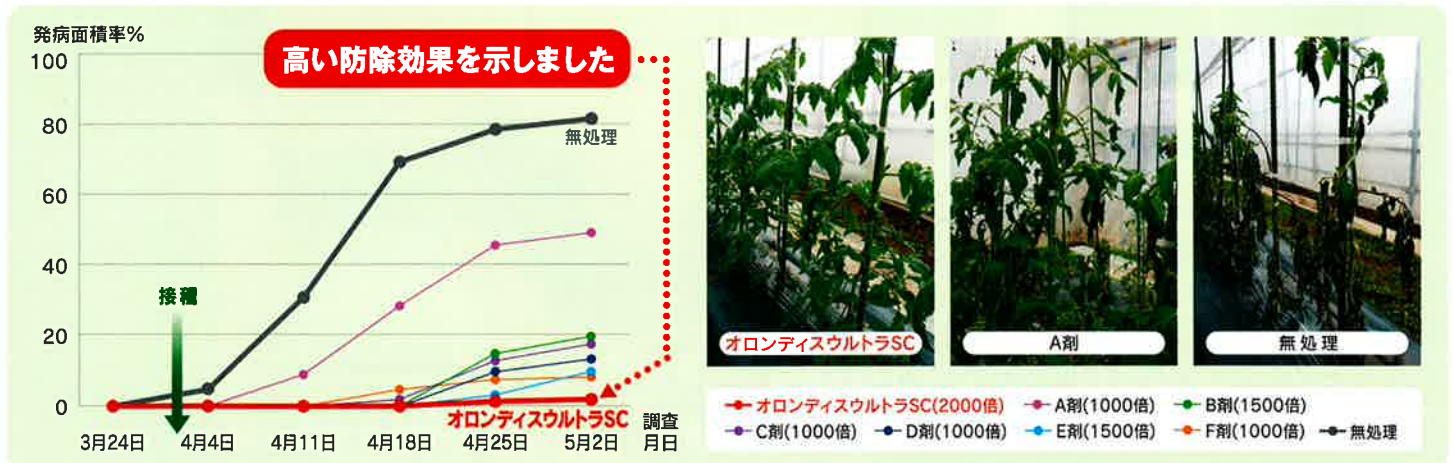
マンジプロパミド

浸達性 耐雨性 残効性

散布された有効成分が速やかにワックス層に吸着。葉の裏側まで浸透・定着し、効果を持続。

■ トマトの疫病に対する防除効果

[2016年 シンジェンタ ジャパン(株)中央研究所]



● 品種:ハウス桃太郎(ビニルハウス) ● 区制:1区5株、3反復 ● 処理日:3月25日、4月5日 ● 処理方法:炭酸ガス加圧式噴霧器を用いて、1回目100L/10a、2回目150L/10aを散布
● 接種方法:3月31日、トマト疫病菌の遊走子の懸濁液を小型電動スプレーを用いて接種 ● 調査方法:各区4株を対象とし各個体10葉の病斑面積を調査し、平均値を算出 ● 撮影日:4月25日

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の運用はさけ、作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 耐性菌管理の観点から、育苗期間中は本剤を使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いしてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 保管…直射日光をさけ、なるべく低温な場所に食品と区別し、密栓して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 使用後の空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階
[ウェブサイト] <http://www.syngenta.co.jp>

